

## 第97回 ほほえみ 開催

4月19日（水）第97回 ほほえみを開催しました。  
8名の方が参加してくれました。

勉強会のご案内です。6月のほほえみで当院腫瘍精神科部長の西本より当院の緩和ケアについての報告と、参加者から緩和ケアについての声を聞く勉強会を開催したいと調整中です。

来月の通信で改めて連絡させていただきます。

次回のほほえみは、5/17（水）14時から16時まで  
北館3階 大会議室での開催となります



【がんサロン事務局】

### 『家族がサポートする秘訣』

（がん体験記）

ほほえみの皆さま、如何お過ごしでしょうか？

桜は、幹が桜の花を支えて咲くらしく、今日の一枚はこれに決めました♪  
父が胃がんだと知った時を振り返ってみたいと思います。

「がん＝常に心身が苦悶する病」と、先入観で思い込んでいました。

父は、自らの置かれた状況に順応しながら、治療や母や妹のため、仕事にも復帰し、当時、学生だった私の帰省時には、買い物や外食などを楽しんでいました。



家族が病の只中にいる本人に、必要なのは、少しばかりの気遣いだと感じます♪

よく心の声に寄り添うとか言いますが、シンプルに考えると道は開けます♪

病気でなくても、日々の心身の変化で愚痴も、心配事、逃避したいなんて日常茶飯事です。

そんな時、ていねいに話を聴いてほしいと思いませんか？

聞き役に徹することが重要で、気持ちを受け止めて、共有することが、家族に出来る大切な家族へのサポートだと、父の胃がん生活を経験して実感したことです。

父のがんが分かり、無力感に陥った時もありました。その時は、健気に病気と上手く付き合いおうとしている父に、逆に力をもらいました。

家族も本人も、悩み、溜息の日々はずっとは続きませぬので安心してくださいな。

遠慮せずに、担当医師や看護師に、困りごと等を整理するためにも、勇気を持ち、医療従事者に頼ると良いと思います。気持ちが落ち着けば、前進できます。

皆さまの心が軽くなるよう、遠く関西より祈っています♪

（和歌山県／女性／胃がん／家族）